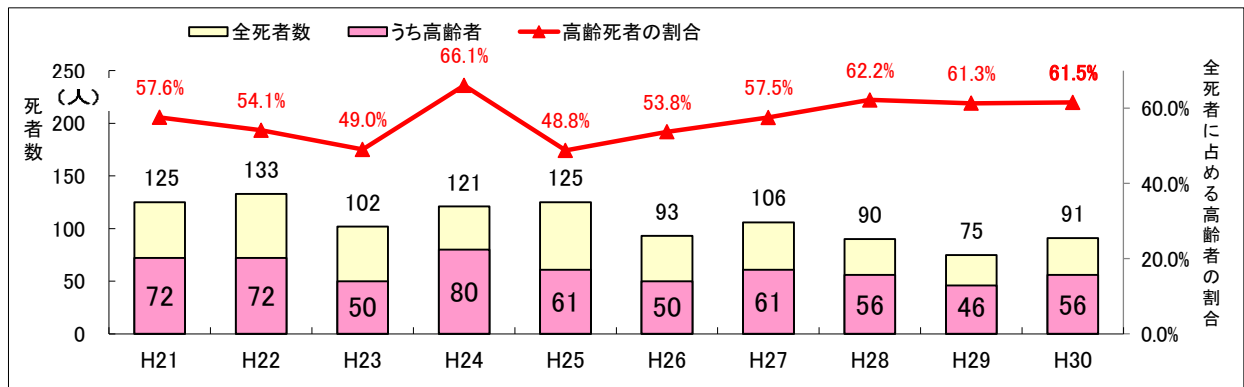


高齢歩行者の横断事故分析

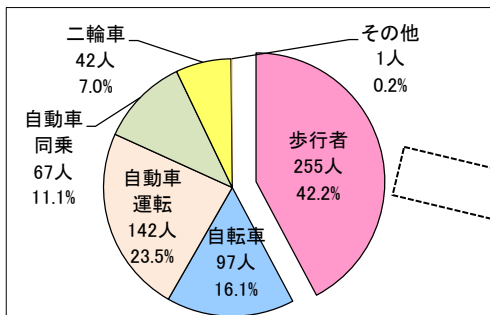
～過去10年間(平成21年～30年)のデータから～

過去10年間の交通事故死者数の推移をみると、全死者数は減少傾向にあるなか、高齢死者数についてはほぼ横ばいであり、全死者に占める高齢者の割合はH28以降連続で6割を超えた。

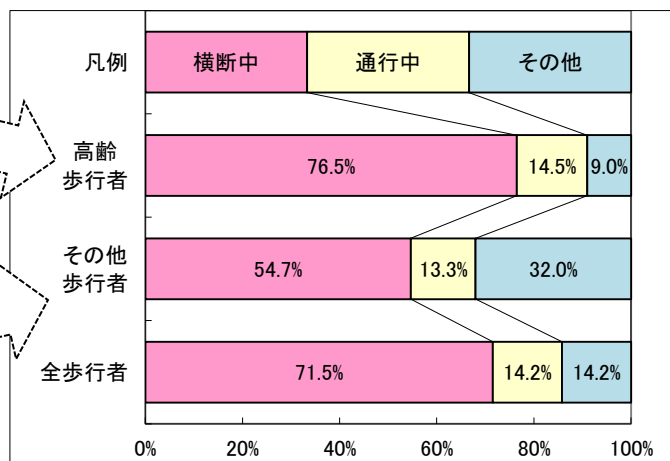


過去10年間(平成21年～30年)の高齢者死者を分析してみると、歩行者の割合が全死者の42.2%と最も多く、特に高齢歩行者は横断中の被害が76.5%と高く、高齢者以外の横断中被害と比較すると21.8ポイントも高い。

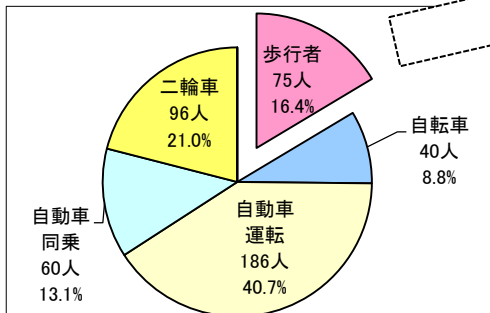
【 高齢者の死者(状態別)・604人 】



【 歩行中死者の行動類型別 】



【 高齢以外の死者(状態別)・457人 】

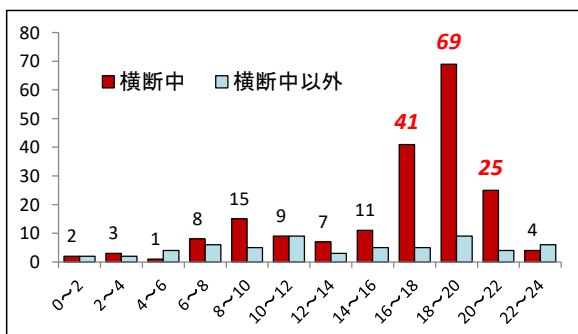


	横断中	通行中	その他	合計
高齢歩行者	195	37	23	255
その他歩行者	41	10	24	75
全歩行者	236	47	47	330

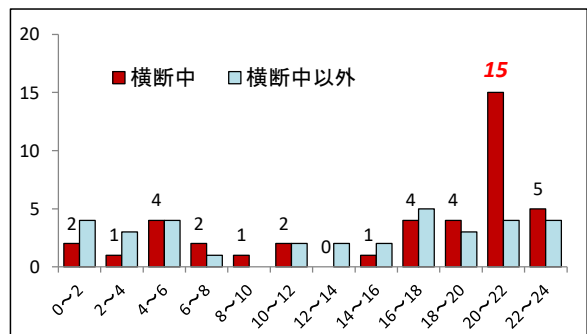
【 歩行者の死者 時間帯別・行動類型別状況 】

歩行者の死者を行動類型別に時間帯を見ると、高齢者は16時以降急激に横断中の死者数が増え、16時から20時のいわゆる「魔の時間帯」が多発傾向にある。さらに、高齢者以外と比較してもこの時間帯の横断中の被害が目立つ。

【 高齢歩行者の死者・255人 】



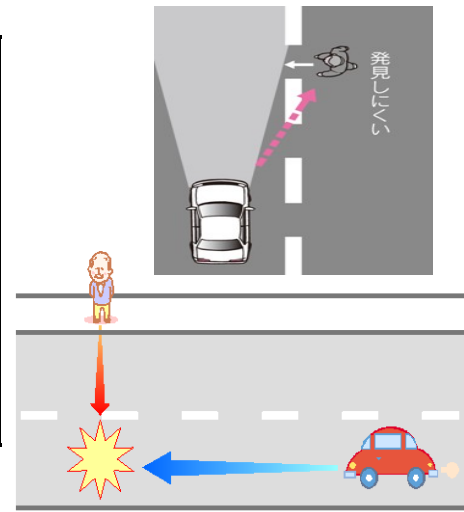
【 高齢者以外の歩行者の死者・75人 】



1 横断時における横断方向の特徴

一般的に横断時は、歩行者から見て『左からの車』と衝突する事故が70.8%と高率を示し、『右からの車』との事故と比べ約2.4倍である。特に高齢歩行者は、横断時に『左からの車』と事故に遭う率が72.3%と高く、さらに夜間は80.0%と高率を示している。これらの原因として、車両のヘッドライトが行き届かない道路右前方の問題や、高齢者の特性である服装の色合い、車両に対する速度感覚不足、横断途中の安全不確認などが考えられる。

区 分		昼 間		夜 間		合 計	
		件数	構成率	件数	構成率	件数	構成率
高齢者	左からの車	33	55.0	108	80.0	141	72.3
	右からの車	27	45.0	27	20.0	54	27.7
	計	60	100.0	135	100.0	195	100.0
その他	左からの車	2	33.3	24	68.6	26	63.4
	右からの車	4	66.7	11	31.4	15	36.6
	計	6	100.0	35	100.0	41	100.0
合計	左からの車	35	53.0	132	77.6	167	70.8
	右からの車	31	47.0	38	22.4	69	29.2
	計	66	100.0	170	100.0	236	100.0



2 高齢歩行者の運転免許保有別横断方向

運転免許を持たない高齢歩行者は、横断時に反対車線で被害に遭う率が73.7%と高く、免許保有者と比べると6.3ポイントも高率を示す。

区 分	免 許 あり		免 許 なし		合 計	
	件数	構成率	件数	構成率	件数	構成率
左からの車	29	67.4	112	73.7	141	72.3
右からの車	14	32.6	40	26.3	54	27.7
計	43	100.0	152	100.0	195	100.0

<参考>

1 高齢歩行者死者の免許保有状況

高齢者の運転免許保有状況は、高齢人口の63.5%であるが、高齢歩行者の死者のうち、運転免許を保有していない人は75.3%であり、免許を持っていない人が被害に遭いやすい。

また、人口1万人当たりの死者数を比較してみると、免許なしの高齢者が免許ありの5.3倍と高率である。

区 分	高 齢 者			15歳(中学生以外)～64歳			子 供 (免許なし)	合 計		
	免許あり	免許なし	小計	免許あり	免許なし	小計		免許あり	免許なし	小計
死者数	64	191	255	47	25	72	3	111	219	330
構成率	25.1	74.9	100.0	65.3	34.7	100.0	—	33.6	66.4	100.0
人口1万人当たり死者数	1.71	8.85	4.31	0.45	2.41	0.63	0.12	0.78	3.75	1.65
人口に占める免許保有率	63.5%	—	—	90.9%	—	—	—	70.8%	—	—

注:人口は平成30年10月1日現在推計人口。

免許保有者数は平成30年12月31日現在。

2 高齢歩行者の運転免許保有別違反別状況

運転免許なしの高齢歩行者は、横断歩道外横断・横断禁止場所横断等の交通ルール無視や、直前直後の横断等、無理な横断が原因の事故が目立つ。

区 分	違 反 あ り									違 反 な し	総 計	
	信号無視	通行区分(左側・車道通行)	横断歩道外横断	斜め横断	駐停車車両の直前直後横断	走行車両の直前直後横断	横断禁止場所横断	酩酊・徘徊	その他			小計
免許なし	12	16	13	12	2	73	7	7	4	146	45	191
構成率	6.3	8.4	6.8	6.3	1.0	38.2	3.7	3.7	2.1	76.4	23.6	100.0
免許なし率	60.0	72.7	92.9	75.0	100.0	83.0	77.8	77.8	50.0	77.7	67.2	74.9
免許あり	8	6	1	4		15	2	2	4	42	22	64
構成率	12.5	9.4	1.6	6.3		23.4	3.1	3.1	6.3	65.6	34.4	100.0
計	20	22	14	16	2	88	9	9	8	188	67	255
構成率	7.8	8.6	5.5	6.3	0.8	34.5	3.5	3.5	3.1	73.7	26.3	100.0

※ 運転免許をもたない高齢歩行者の交通事故被害の特徴は、免許がない故に運転経験がなく、交通ルールの認識が薄い、車両の速度感覚に慣れていない等の結果、歩行者から見て『左からの車』と衝突する事故に遭いやすいと考えられる。